

先生のための日帰り森林教室を開催しました！

令和4年8月23日（火曜日）、都内小中学校の先生を対象にした日帰り森林教室を檜原村で開催しました。この教室は、先生方が実際に山の現場で働く林業技術者から直接話を聞くことで、森林教育や木育の授業に役立てていただくことを目的にしています。

参加者は6名で、武蔵五日市駅に集合し10時にバスで出発しました。下刈作業を見学した後、林業技術者と交流し、先生方から、林業に就くことになったきっかけや、林業の役割など様々な質問があり、普段接することのない林業技術者の生の声に熱心に聞き入る姿が印象的でした。

午後には、村の観光名所である払沢（ほっさわ）の滝や、製材所、おもちゃ美術館を見学しました。

檜原村の森林の見学 ～ 下刈り現場の見学

檜原村にある森林で、作業道を散策しながら森づくりやスギ・ヒノキについて説明を受け、林業の基本について学びました。説明を受けながら作業道を進んでいくと、下刈りの現場に到着し、下刈り作業についての説明を受け、刈り終わった斜面に立って作業の大変さを感じてもらいました。



現場見学開始！



散策しながら森づくりについて説明



スギやヒノキについてのお話



下刈り現場の見学

林業技術者との交流 ～ 弘沢(ほっさわ)の滝 ～ 製材所

下刈り現場の見学後は、実際に現場で働く林業技術者と交流会を行いました。交流会では、林業を始めようと思ったきっかけや住んでいる場所、木材価格の低迷が長引く中での打開策など様々な話がありました。

交流会後は、檜原村の観光名所である弘沢の滝を見学し、村内の製材所を見学しました。製材所では、丸太の皮むきや製材の様子を見学しました。丸太の仕入れ先、地域産材のニーズの高まり、後継者などの話を聞くことができました。



林業技術者との交流



昼食を取りながら交流の続き



弘沢の滝到着！みんなで滝を望む



丸太の皮むきを夢中で見学



工場に入り、製材の様子を見学



製材について説明を受ける

檜原森のおもちゃ美術館

最後は、檜原森のおもちゃ美術館を見学しました。見学に入る前に檜原村トイビレッジ構想によってスタートしたこと、また隣接するおもちゃ工房についての説明も受けました。



檜原森のおもちゃ美術館前で檜原トイビレッジ構想について説明を受ける



館長さんから美術館の説明を受ける



施設内を見学



館長さんから各スペースの説明を受ける

先生方の感想（抜粋）

○実際に働く現場を見せていただき、林業を営む人の生の声を聞くことができた。

○現地でしか知ることができない情報を知ることができた。

○これから学校教育に森林教育を取り入れていく上で参考になった。

○一番印象に残ったもの ⇒ ・林業の役割を大まかにだが理解することができた。
・現場の方のお話し

○生徒に伝えたいこと ⇒ ・身の回りで使われている木が多くの人の手を経て自分たちの手元にあることの実感を伴った理解をさせたい
・「林業」は木を切るだけでなく、多くの可能性があること。
アイデアを無限に生かせること。